

平成29年第7回 日高市教育委員会会議録

|               |   |
|---------------|---|
| 開催の日時         | 平成29年7月27日（木曜日）午後2時00分から4時15分まで   |
| 会議開催の場所       | 市役所503会議室   |
| 会議の公開又は非公開の別  | 公開。ただし人事案件については非公開。   |
| 非公開理由         | 個人に関する情報が含まれるため。  |
| 出席委員の氏名       | 中村一夫（教育長）・矢次健志・島村由起男・神山好子・井上三枝  |
| 欠席委員の氏名       | なし  |
| 説明員の職氏名       | 教育部長 関口正明・教育部参事 島津芳久・教育総務課長 鈴木雅広・学校教育課長 稲村浩之・学校教育課副参事 松崎努・生涯学習課長 関根俊介・高麗公民館長 岡村良夫 |
| 出席した事務局職員の職氏名 | 教育総務課主幹 菊地誠治  |
| 傍聴者数          | 0人  |
| 会議資料の名称       | 会議次第・教育長報告・報告第4号・議案第21号から議案第22号・配布資料一覧  |

議題及び決定事項等

報告第4号 専決処理について

原案どおり承認

議案第21号 日高市教育事務の点検評価に係る学識経験者の委嘱について

原案どおり可決

議案第22号 平成30年度使用小学校用教科用図書採択について

原案どおり可決

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長の報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 高麗公民館の事業で、資格取得講座「日本赤十字救急法救急員養成講座」には、どのような資格を有している人が来ているのか。

(高麗公民館長) 日本赤十字社と共催で、通常、消防署で行う救急救命講習より深

い内容の講座となっている。資格も日本赤十字社認定の救急法救急員という資格が得られるもので、市外からも受けに来る人がいるほど人気の講座である。講師は、日本赤十字社からの派遣となる。

(委員) 高麗公民館でしかやらないのはなぜか。また、市外の人があることでのPR方法は。

(高麗公民館長) 高麗公民館で始めた事業であり、人気があるので連続して開催している講座である。また、PR方法については、市の広報などのほか、日本赤十字社がホームページなどに掲載しており、そちらを通じての申し込みが大きいと思われる。

(委員) 公民館利用者の分館別の人数と来館者数などを比べると、高麗公民館はどうなのか。

(高麗公民館長) 自治会単位での来館者数については、把握していないが、感覚的には、古くから高麗地区に住んでいる方々は、日常的に畑仕事などを行っている中で、なかなか空いた時間に余暇を楽しむという考えが少ないと感じる。反対に定年退職を迎えた方々については、余暇を楽しむため、サークル活動などに参加するというような動きがみられる。

(委員) 高麗地区というのは、市内全体から比べ、三世代同居の家族が多いと感じる。高齢化が進む中で、高齢者だけの家庭が多い地区に狙いを定めて、公民館活動に参加してもらう必要性を感じている。

(高麗公民館長) なかなか、高齢になると公民館まで足を運んでもらうことも難しくなってくるため、地区の分館や自治会館などで区長経験者などの力を借りながら地区毎に事業を進めていくことが良いのではないかと考えている。

(委員) 図書館の東京大学CAST・サイエンスショーについて、複数回実施しているが、ショーは学生がやるのか。また、人気があるのか。

(生涯学習課長) 学生が行うもので、非常に人気がある。

(委員) ひだかアリーナなど指定管理者で進めているところについて、複数年経過したので、費用対効果を検証するために、指定管理前と指定管理後の状況について資料としてまとめてほしい。

(生涯学習課長) 利用者と費用的なものについて、まとめたものを資料にして、改めてお示しする。

(委員) 前回会議時の水泳教室について、市民の方から伺った意見として、すぐ予約がいっぱいになってしまうため不満があるとのことであった。枠を広げることが出来ないか。

(教育部長) 学校プールの開放となるので、管理上の問題や施設の大きさなど受け入れ枠の問題がある。現在、開催を委託している水泳連盟との話し合いになるが、日数や会場を増やすなど検討していきたい。

【教育長報告：資料1 関連】

(委員) 西部教育事務所管内教育委員会教育長会議における川越市の事件の裁判報告について、何か問題が起きたときに、リスクマネジメントの観点から、学校側の対応として、保護者等との対応をする際などに、第三者の立ち合いが必要になってきている状況ではないか。

(教育長) 川越だけでなく東松山の事件を受けてもそうであるが、学校だけで対応を進めるのではなく、児童相談所や警察などと連携して、組織的に対応していくことが求められている。

(委員) 教職員が、対応する際に、根本的に誠意をもって対応するためには、本人にゆとりがないと誠意をもった対応ができないと考える。教職員の研修など生徒と向き合う時間以外の事務について、抜本的な負担軽減策を考えることは必要である。前回の会議に引き続いた内容であるが、非常にお願ひしたい部分である。

(委員2) 教職員の仕事は、考え方によっては際限がないものであり、どこで終わりというものを指標化するのは難しく、それこそ個人の考え方や情熱が強くなるのではないかと。休日を設けリフレッシュできる様な体制を取らないと根本が変わらないのではないかと。

(委員) 例えば、夏休み期間があったとしても、その期間に研修を充てるのでは、結果として負担が軽減されたとは言えないので、研修についても取捨選択して、参加する研修の数を減らすことも必要である。

(委員2) 法定研修は減らすのは難しいが、市が主催する研修などは減らすことが可能ではないか。

(教育部参事) 市教育委員会の判断で、減らしていくことが可能な研修は少ない。学校経営の中で、研修の内容の軽重を判断して加減していくことはあり得る。

(教育長) 日高市においては、土曜授業を始めたときに、平日の授業時間数を減らして年間の授業時間数を変更しないで行っている。通常は土曜授業数分が増加するが、日高市教委独自で、平日を減らし、空いた時間を教職員にうまく活用してもらうための軽減策であり、軽減策を工夫できるところはしている。

(委員) 復習ノートなどは、教職員の負担だけでなく、人のノートを写すなど、子どもの取り組み状況を考慮すると、取りやめの方向で見直しをしても良いのではないかと。

(委員2) 学習習慣の確立のための手段ということはあるが、子どもたちが自主的に取り組む環境になっていないと、あまり効率は良くないのではないかと。

(教育長) 話にあがった復習ノートなどについても、全てにおいて大事なものは教育的効果があるかどうかである。自主的に取り組む環境をつくるのが重要な部分であり、やらされている感があるようなものは、見直してみることが大事であろうと考える。

(委員) 事件の話を考える中で、問題を抱える生徒への対応として、担任や教務主任、教頭、校長だけでなく、全ての教職員で情報を共有することが大事であると

考える。全ての教職員が、生徒を見守る体制をつくることを手始めにお願いしたい。

(教育長) 体制づくりは必要と考える。現在でも共有化を図っているが、一層心掛けていきたい。

(委員2) 保護者など地域での見守りも必要とは思いますが、なかなか家庭の事情に踏み込めないこともあり難しい問題である。

(委員3) 民生児童委員などの協力も必要であろう。様々な力を結集しなければ解決しない問題である。

(委員2) スポーツ少年団など地域活動をしてきた子であれば、顔を知っている間柄なので、話しかけやすい場合があるが、そうでない子は難しい。ということは、そのように地域活動を促すなどの部分から考えても良いのではないか。

(教育長) 家庭と学校、地域で愛情を持って見守っていける体制を取ることが理想である。

(委員) 事故防止の話で、教職員の間での盗難のニュースがあったが、日高市では、金銭関係の取り扱いについて、何か学校内での取り決めはあるのか。

(教育長) 金銭を含めた貴重品を職員室に置かないこととしている。鍵のかかるロッカーにしまうように指導しているところである。

(委員) いじめ問題専門委員会について、どのような話し合いが行われたのか。

(教育長) いじめの事例と結果が一覧となったものを資料としたが、過程や詳細がなく解決となっており、内容が分かりにくい資料なので検討が出来ない。

また、うまく解決できた事例などの提示がないと、検証ができないなどの指摘を受けたところである。

(委員) 子ども大学ひだかの「結婚式に参加してみよう」という講義について、内容は。

(教育長) 小学生のキャリア教育に近いが、職業などの模擬体験してもらうという内容となっている。埼玉女子短大の授業プログラムを小学生が体験できるものである。講師の手伝いを学生が行っている。

#### 4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

報告第4号、議案第21号について、非公開議案のため記載せず

議案第22号について

(委員) 最近の教科書は重量があり、小学生の通学での持ち運びを健康面から考慮すると、選定された教科書が一番軽いので、良いのではないか。また、携帯やインターネットの関係も記載があるので、望ましいと考える。

(教育長) 内容も良いものとして採択地区において、選定となったものである。

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

- 8月定例会：8月23日（水曜日）午後1時40分から 委員了承
- 9月定例会：9月22日（金曜日）午後1時40分から 委員了承

(2) その他連絡事項

○ 日高市中学生海外派遣事業

壮行会 7月30日（日曜日）午後3時00分から 【市役所501会議室】

帰国報告会 8月8日（火曜日）午前10時00分から 【市役所501会議室】

○ 市内中学校（6校）体育祭

9月16日（土曜日）【各中学校】

○ 市内小学校（高麗川・高萩・高萩北）運動会

9月24日（日曜日）【各小学校】

○ 入間地区教育委員会連合会理事会・研修会（予定）

10月11日（水曜日）【坂戸市文化会館ふれあ】

理事会 午後2時から

研修会 午後3時から